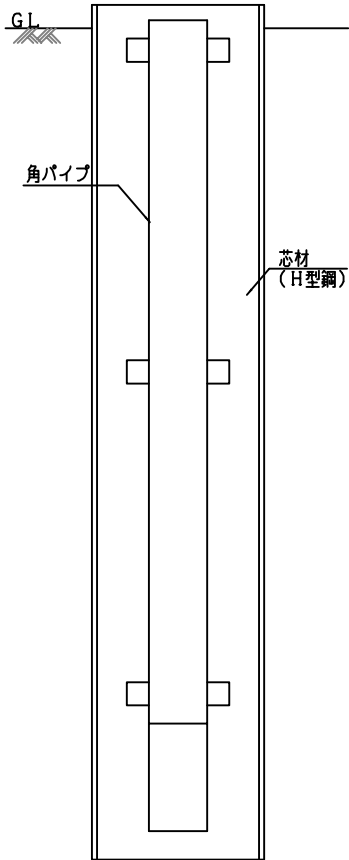


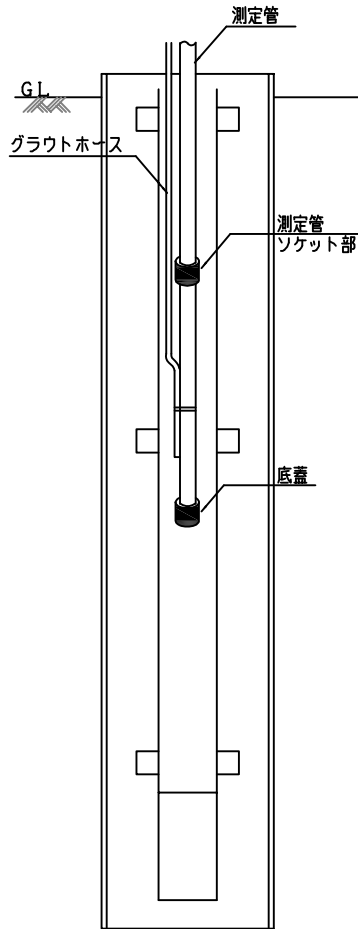
測定管の設置手順書(角パイプ内)

①



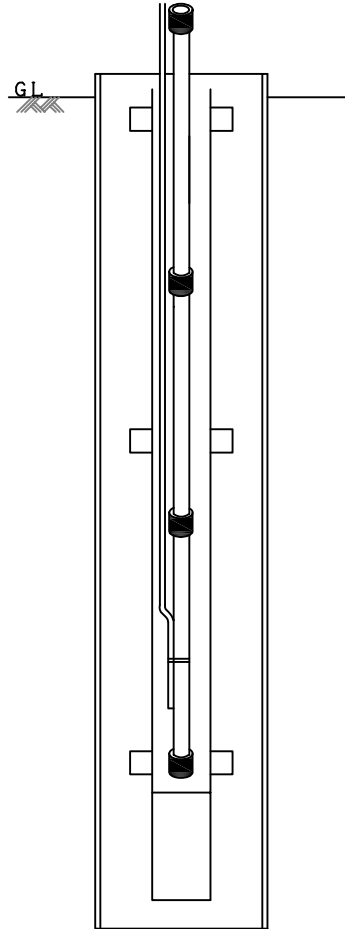
・検尺により角パイプ内に異物が入っていないことを確認する。

②



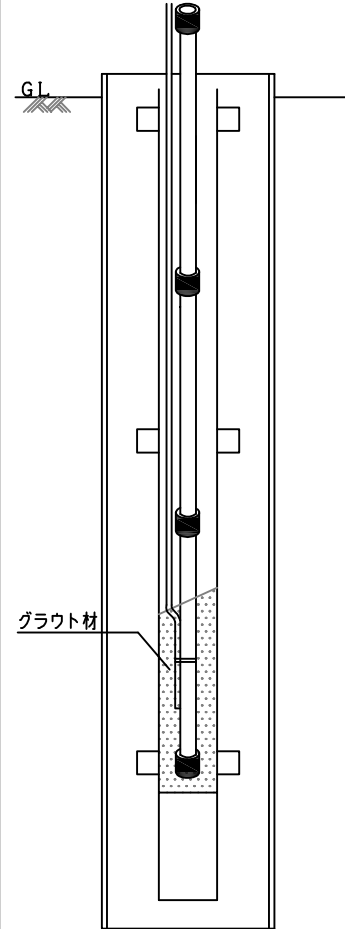
・測定管を設置する順に並べる。最深部(底蓋付)、最上部はなるべく3mものとする。  
・最深部の蓋付測定管にグラウトホースをビニールテープで留めて、角パイプ天端から1m程度頭が出るように建て込み、測定方向を合わせる。

③

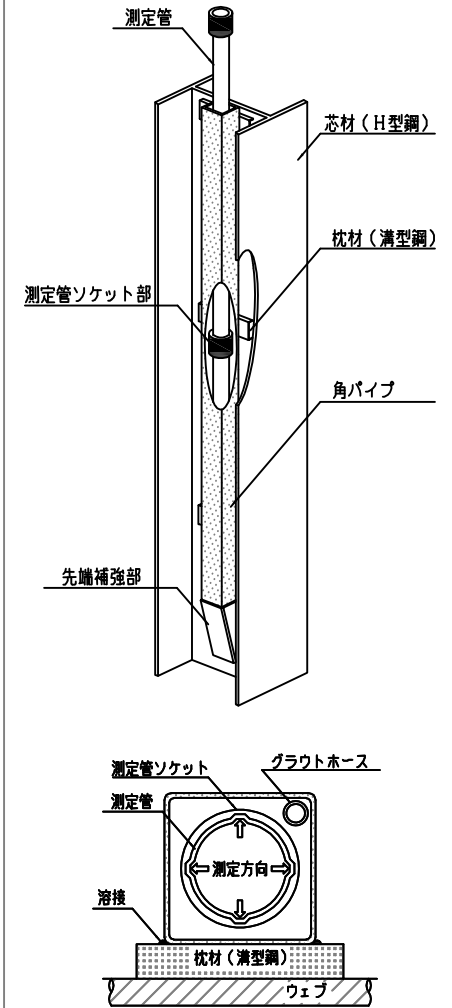


・次の測定管を接続して、ソケット部にガムテープ及びビニールテープを巻き付けて固定する。②と同様に1m程度頭が出るように建て込む。  
・この操作を繰り返して所定の深さまで測定管を建て込み最後に測定方向を確認してから測定管頭部を角パイプに固定する。

④



・測定管建込時にセットしたグラウトホースを利用してグラウトする。  
・グラウト時、測定管に浮力が発生した場合測定管内に水を入れ、浮力を除去する。  
・グラウトが終了し次第グラウトホースを引き抜く。  
・グラウト天端の沈降(グラウト終了後1時間程度が目安)が認められたら、グラウト材を天端より投入する。



<以後の作業>

・測定管天端をやすりで面取りする。  
・初期値取りをする。  
・測定管内に異物が混入しないように常時測定管頭部に測点記号を白ペンで記入した蓋をしておく。